

# 国語

## 注意

- 1 開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答は、全て解答用紙に記入しなさい。
- 3 漢字は楷書、仮名遣いは現代仮名遣いで書きなさい。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、記号で書きなさい。
- 5 問題用紙は、冊子の形になっています。
- 6 問題は、表紙の裏を1ページとし、7ページまであります。開始の合図で問題用紙の各ページを確認し、始めなさい。
- 7 問題用紙の表紙と解答用紙の受検番号欄に、それぞれ受検番号を記入しなさい。

受検番号

次の「A」と「B」の二つの文章を読んで、後の1から6までの各問いに答えなさい。「A」の1から4は、段落の番号を表します。

(著作権保護のため削除)

(注) サボニンⅡさまざまな植物に含まれる、渋みや苦みなどの成分。  
遺構Ⅱ昔の建造物などの跡。 火山剛Ⅱ農山村についての研究者。 灰汁Ⅱ灰を水に溶した時の上澄み。 栗島 義明Ⅱ『森の資源とそ利用』による。  
堅果類Ⅱドングリのように、皮が堅い果実類。 痕跡Ⅱ以前に何かがあったことを示す跡。

(著作権保護のため削除)

(古川 清行『大昔の人々の暮らしと知恵』による。)

- 1 【A】の文章中に——線部【表【参照】とありますが、【A】の文章中に【図【参照】という言葉を入れるとすると、どこに入れるのが最も適切ですか。(e)から(e)までの中から一つ選び、記号で答えなさい。
- 2 【A】の【表】の①から④までは、それぞれ文章中に出てくるクリ、クルミ、トチ、コナラのいずれかを示しています。トチを示しているのはどれですか。①から④までのうち、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。
- 3 【A】の段落相互の関係について説明したものととして最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。
  - ア 【2】段落は、【1】段落で説明された内容に対する否定的な意見を述べている。
  - イ 【3】段落は、【2】段落までの内容を受けてさらに別の角度から考察している。
  - ウ 【3】段落は、【2】段落までの事実をふまえて新たな疑問を述べている。
  - エ 【4】段落は、【3】段落の内容と対立するさまざまな事実を示している。
- 4 【B】の……線部について、「土器は人類最初の大発明品」といわれるのは、土器のどのようなつかわれ方によるものですか。解答欄の「とじうつかわれ方。」に「に」つながるように書きなさい。
- 5 【A】と【B】の説明の仕方を比較したものととして最も適切なものを、次のアからエまでの中から一つ選び、記号で答えなさい。
  - ア 【A】では具体的な数値を挙げながら説明しているのに対し、【B】では他の文献の記述を比較しながら説明している。
  - イ 【A】ではよく似た内容を繰り返して説明しているのに対し、【B】では課題ごとに項目を立てて説明している。
  - ウ 【A】では始めに要点をまとめて説明しているのに対し、【B】では疑問を解き明かす過程を明らかにしながら説明している。
  - エ 【A】では根拠を積み重ねながら説明しているのに対し、【B】では内容を項目ごとに区切って詳しく説明している。
- 6 【A】を読んだことのない人に対して、「【A】の内容を疑問と答えの形式にまとめて紹介します。次の……で示した【B】のまとめくを参考にして、「【A】の疑問と答えをそれぞれ書きなさい。」

【B】のまとめく

疑問 土器は人々の暮らしをどうかえたのだろうか。

答え 利用できる食べ物の種類や量をふやすことで、生活にゆとりをもたらし、結果として人口をふやした。

- 【本の一部】
  - 【本の一部】
- かなえさんは、「本の一部」について、「授業のノート」を見ながら「家庭学習のノート」にまとめています。これらを読んで、後の1から5までの各問いに答えなさい。( )【本の一部】の①から⑥は、段落の番号を表します。( )

### (著作権保護のため削除)

( 鶴田 清一 『読むあることなし』2016年。)

【授業のノート】

文章を読んで自分の考えを述べよう

【めあて】

論理の展開の仕方をとらえるために、段落相互の関係を考へて、要約できるようにする。

要約・・・目的や必要に応じて、大切な情報を整理し、文章を短くまとめること。

◎段落相互の関係を考へて要約する。(七十文字以内)

① ② ③ 段落の要約

自分の生きている意味を考へ、思い悩むときには、同じ苦しみから生まれた文学や芸術作品を参考にして、いろいろな補助線を与えてもらうことが必要だ。

④ ⑤ 段落の要約

理解は考へ続けて到達できるものであり、突然世界がめくれ返るようなことがあっても、投げ出さずに考へ続ける知的な肺活量を持つことがたいせつだ。

〈要約のチェックポイント〉

◇文章全体を理解して要約できているか。

◇キーワードが表す内容をとらえて要約しているか。

振り返り

要約するときには、ただ短くまとめればよいのではないということがわかった。次の時間は、⑥段落の要約が適切か交流して確かめ、文章全体の要約をするので、家庭学習で今日の要約を見直し、⑥段落の要約にチャレンジしたい。

【家庭学習のノート】

☆キーワードやキーワードを含む表現

① ② ③ 段落 「補助線を引く」 ↓ 列の方向から見る。

④ ⑤ 段落 「a」 ↓ 投げ出さずに考へ続ける。

⑥ 段落 「賢い」 ↓ 「頭がいい」とはなんの関係もない。

☆大切だと思う表現

私たちは、「一つの問いに一つの答えがある」という考え方をやめなければならぬ

「一つの答えがある」



b

☆① ② ③ 段落の要約の見直し

思い悩んで、考へが進まないときには、行き詰まった思考回路をひっくり返すために、いろいろな方向から物事を見て、考へることがたいせつだ。

☆⑥段落の要約(八十文字以内)

。

1 【家庭学習のノート】の a に入る適切な言葉を書きなさい。

2 かなえさんは、「本の一部」の——線部を「大切だと思う表現」として、「家庭学習のノート」に書きました。「家庭学習のノート」の b には「二つの答えがある」と反対の内容が入ります。 b に当てはまる適切な言葉を「本の一部」の文章中から抜き出して書きなさい。

3 かなえさんは、「授業のノート」を読み返し、「家庭学習のノート」の ① ② ③ 段落の要約の見直し」のように書き直しました。かなえさんが書き直すときに注意したことは、どのようなことですか。「授業のノート」に書かれている言葉を使って、具体的に説明しなさい。

4 【家庭学習のノート】の c に当てはまるように⑥段落の要約を書きなさい。

5 かなえさんの学級では、この後の国語の授業で、「本の一部」から読み取った筆者の考へに対して、自分がどう考へたのか交流します。次の「」で囲まれた文は、先生が黒板に書かれた「交流を深めるための留意点」です。あなたが交流するとしたら、どのように述べますか。後の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

〈交流を深めるための留意点〉

読んで考へたことを、文章中の具体的な言葉や表現と結び付けて述べること。

条件1 「」で示した〈交流を深めるための留意点〉をふまえ、「本の一部」から言葉や表現を引用して書くこと。

条件2 原稿用紙の正しい使い方が、百字以上、百四十字以内で書くこと。

三

次の1から4までの各問いに答えなさい。

1 次の①から⑤までの文中の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- ① 楽器をエンソウする。
- ② 腕のキンニクを鍛える。
- ③ 家庭学習の習慣をヤシナう。
- ④ 大きな城をキズく。
- ⑤ 学校のキノクを守る。

2 次の①から⑤までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなで書きなさい。

- ① 考えを簡略に述べる。
- ② 期限が半年後に迫る。
- ③ そうじを徹底する。
- ④ 穏やかな口調で話す。
- ⑤ 寸法に合わせて布を裁つ。

3 次の①と②の文中の——線部の品詞は何ですか。後のアからオまでのうち、それぞれ最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 彼女の懸命に祈る姿が、私に勇気を与えてくれた。
- ② 彼女の懸命な折りが、私に勇気を与えてくれた。

- ア 名詞
- イ 形容詞
- ウ 副詞
- エ 動詞
- オ 助動詞

4 次は、「おくのほそ道」の【冒頭の部分】とその【現代語訳】です。これらを読んで、後の①と②の各問いに答えなさい。

【冒頭の部分】

月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。舟の上に生涯を浮かべ、馬の口とらへて老いを迎ふる者は、日々旅にして旅をすみかとする。

【現代語訳】

月日は永遠に旅を続けて行くものであり、来ては去り去っては来る年々も、また同じように旅人である。舟の上に身を浮かべて一生を送り、旅人や荷物を乗せる馬をひいて生涯を過ごし、老年を迎える者は、日々が旅であって、旅そのものを常のすみかとしている。

① 【冒頭の部分】の——線部「行きかふ年」の部分は、【現代語訳】のどの部分と対応していますか。適切な部分を【現代語訳】の中から抜き出して書きなさい。

② 【冒頭の部分】の——線部「とらへて」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。